

三 監 告 示 第 8 号

随時監査結果に関する報告の公表について

地方自治法第 199 条第 5 項の規定に基づき、随時監査を実施したので、本書のとおり同条第 9 項の規定により公表します。

令和 2 年 11 月 20 日

三条市監査委員 長 橋 昇

三条市監査委員 捧 厚 雄

三条市監査委員 武 石 栄 二

記

- | | |
|-----------|---------------------|
| 1 監査の対象 | 「随時監査結果に関する報告書」のとおり |
| 2 監査の期間 | 同 上 |
| 3 監査の方法 | 同 上 |
| 4 監査対象の概要 | 同 上 |
| 5 監査の結果 | 同 上 |

随時監査結果に関する報告書

1 監査の対象

令和元・2年度における総務部高等教育機関設置推進室所管の三条市立大学の建設工事の設計及び施工に関する執行状況

2 監査の期間

令和2年6月8日から同年11月20日まで

3 監査の方法

監査に当たっては、工事の計画、設計、積算、施工等が法令等に準拠し適正かつ効率的に執行されているかを主眼として、書類審査を行うとともに関係職員及び事業関係者からの説明を聴取して実施した。

なお、技術面については、特定非営利活動法人建設技術監査センターに工事技術調査業務を委託して実施した。

4 監査対象の概要

(1) 事業概要

三条市立大学の設置は、「三条市総合計画」において若年層を中心とした人口動態の改善を進めるための重要施策の一つとして位置付けられ、地元企業と連携した実習や長期の産学連携実習等により、地域が求める人材を育成する4年制大学として令和3年4月開校を予定し、その設置を進めている。

その建設工事の事業概要は次のとおりである。

ア 建設場所	三条市上須頃 1341 番地 (3 街区)
イ 敷地面積	28,505.86 m ²
ウ 建物概要	【校舎棟】 鉄骨造 地上4階建 建築面積 4,901.35 m ² 延べ面積 15,254.49 m ²
	【体育館棟】 鉄骨造 地上2階建 建築面積 996.08 m ² 延べ面積 1,188.85 m ²

(2) 工事概要

ア 校舎棟建設建築本体工事

工事名	三条技能創造大学校舎棟建設建築本体工事
請負者	水倉・小柳・桑原特定共同企業体
工事期間	令和元年7月1日～令和3年1月31日
契約額	3,300,000,000円

- イ 校舎棟建設電力設備工事
工 事 名 三条技能創造大学校舎棟建設電力設備工事
請 負 者 ユアテック・斎藤・大原特定共同企業体
工事期間 令和元年7月1日～令和3年1月31日
契 約 額 514,800,000円
- ウ 校舎棟建設通信設備工事
工 事 名 三条技能創造大学校舎棟建設通信設備工事
請 負 者 本間・長谷テクニカル特定共同企業体
工事期間 令和元年7月1日～令和3年1月31日
契 約 額 303,600,000円
- エ 校舎棟建設空調設備工事
工 事 名 三条技能創造大学校舎棟建設空調設備工事
請 負 者 ケンオウ・新潟断熱特定共同企業体
工事期間 令和元年7月1日～令和3年1月31日
契 約 額 741,400,000円
- オ 校舎棟建設衛生設備工事
工 事 名 三条技能創造大学校舎棟建設衛生設備工事
請 負 者 サンライフ・山本特定共同企業体
工事期間 令和元年7月1日～令和3年1月31日
契 約 額 259,600,000円
- カ 体育館棟建設建築本体工事
工 事 名 三条技能創造大学体育館棟建設建築本体工事
請 負 者 外山・マルモ特定共同企業体
工事期間 令和元年12月17日～令和3年1月31日
契 約 額 448,800,000円
- キ 体育館棟建設電気設備工事
工 事 名 三条技能創造大学体育館棟建設電気設備工事
請 負 者 株式会社 大方電機
工事期間 令和元年10月31日～令和3年1月31日
契 約 額 39,600,000円
- ク 体育館棟建設機械設備工事
工 事 名 三条技能創造大学体育館棟建設機械設備工事

請負者 三条文化建設株式会社
工事期間 令和元年11月1日～令和3年1月31日
契約額 23,100,000円

ケ 校舎棟工事監理業務委託

委託業務名 三条技能創造大学校舎棟建設工事監理業務委託
請負者 株式会社 佐藤総合計画
委託期間 令和元年7月8日～令和3年2月13日
契約額 42,680,000円

コ 体育館棟工事監理業務委託

委託業務名 三条技能創造大学体育館棟建設工事監理業務委託
請負者 株式会社 佐藤総合計画
委託期間 令和元年12月23日～令和3年2月13日
契約額 12,430,000円

5 監査結果

本施設の建設工事の計画、設計、積算及び契約に関する書類並びに工事監理体制及び施工体制に関する書類は、適正に整備されており、施工状況についても、計画書に基づいて適正に工事が実施されている。

本施設は、この地域が求める人材の育成に貢献し、若者の転出抑制につなげる重要な施設である。来年1月の工事竣工、4月の開学に向けて施工業者、工事監理者と協力して事業を遂行されるよう要望する。

なお、技術的な観点を踏まえた所見は、次のとおりである。

(1) 計画

事業決定の手續や決裁、工事の確認申請書類の整備、関係機関との協議、関連工事の調整等は適切に行われ、予算との整合性等は図られている。

(2) 設計

適用している設計基準及び設計図、特記仕様書及び設計書等の設計関連資料等の整備及び運用は適切に行われている。

また、設計後のトラブルを防止するため、実施設計及び現場開始段階において行った具体的な指示や確認した事項について、設計仕様書等において明文化し事業関係者間で保管することが望ましい。

なお、設計におけるそれぞれの評価は、次のとおりである。

ア 先行開学した医療系専門学校を仮使用しながら並行工事することについては、工事動線と利用者動線を完全に分離するなど、工事中の安全性を重視した仮設計画となっている。

イ 電気設備設計は、安全性、省エネルギー、省資源を配慮するとともに、維持管理、将来計画を考慮した設備計画となっている。

また、複数の施設を同一敷地内に建設することにより、通信連絡や移報・警報の相互活用が図られる最適な設備環境を整えている。

ウ 空気調和設備設計は、空調負荷計算、機器選定、システム構築など空調性能を十分確保し、機器の分散で保守点検に配慮するとともに、耐震性能の確保、グリーン調達品に該当した機器の選定、室外機の防音対策など、環境に配慮した施設に適した設計となっている。

エ 給排水衛生設備設計は、節水に考慮した衛生機器を選定し、利便性に配慮している。また、災害時の給水確保などのBCP対応、グリーン調達品に該当した機器の選定など、施設に適した設計となっている。

(3) 積算

積算基準については、国又は市の公共建築工事の基準を基本とし、材料単価は標準単価表及び刊行物を使用しており、適正な積算が行われている。

(4) 入札契約

一般競争入札については、入札条件及び内容を電子公告システムに入札公告、設計書及び図面を掲載しており、市の財務規則等に従って公正かつ適切に行われている。

(5) 工事監理

工事監理については、監理方針書を基に、試験、検査、品質管理等が適切に行われている。

なお、当該工事現場において、9月に1件の不慮災害が生じた。安全第一を心掛け、引き続き、安全への意識の強化を図るよう努められたい。

(6) 施工

施工計画書に基づいて、適切に施工されている。

(7) 環境保全

周辺環境の騒音対策として、防音パネルを設置している。また、建設資材は建設リサイクル推進計画に配慮するとともに、廃棄物処理については産業廃棄物管理票（マニフェスト）にて適切な管理が行われている。